

位置図 (10④ 採捕の区域)

町道 上川西右線 協和橋

採捕予定区域

6 km

町道 大苗河原線 大苗橋

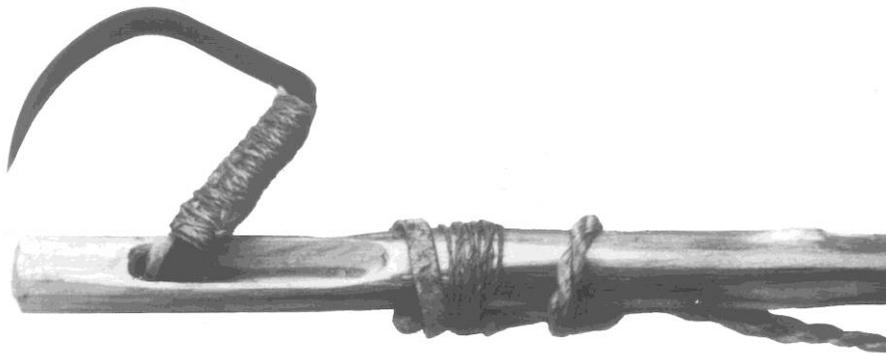
資料 内水面さけ採捕事業に使用する漁具

マレク（マレプ）：銚、回転銚、自在銚、魚鉤（サケを引っかけてとる道具）

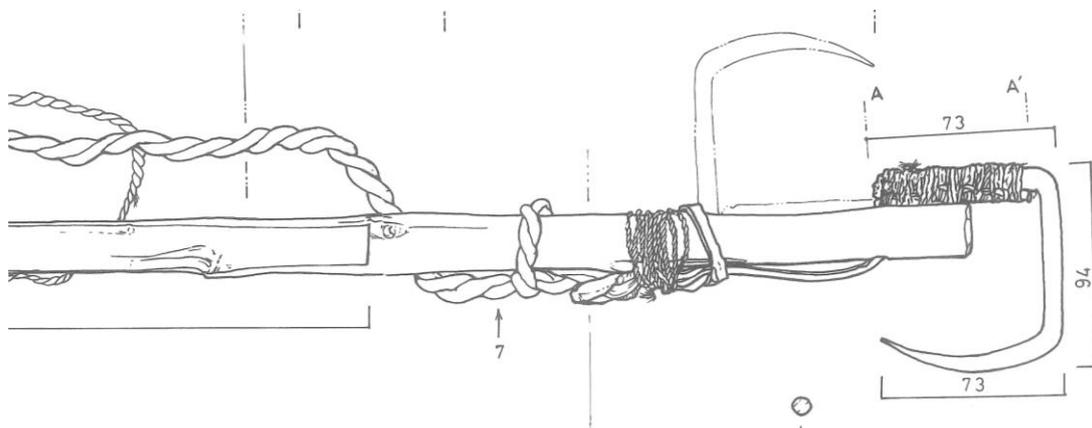
マレクを川の流れにそって静かに水に潜らせ、魚が近づいたら突く。



【出典：平成 30 年度 白糠アイヌ協会による特別採捕記録 写真左の道具がマレク】



【出典：『アイヌの民具』萱野 茂（1978 年）】



【出典：『アイヌの民具』萱野 茂（1978 年）】

アブ：やす、かぎ、かぎ針=魚を突いたり、引っかけてとる道具



【写真：白糠アイヌ協会 シカ角製アブ（やす）】

※シカ角製のやすは、アイヌに鉄の道具が伝わる以前からあるものと考えられ、サケのほかにも、秋に川をのぼるアメマス獲りにも使われた。アメマスは、産卵を終えて再び海へもどるものを獲った。【参考文献：『シラリカ コタン』シラリカコタン編集委員会（2003年）】



【写真：白糠アイヌ協会 シカ角製アブ（かぎ）】

※かぎはふつう「ながしかぎ」と言われているもので、川をのぼってくるサケなどを捕った。かぎを上向きにして、川の流れにそって流し、魚が近づいたら柄を引いて引っかける。【参考文献：『アイヌの民具』萱野 茂（1978年）】